

緑のガレージ D&S

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■施工上の注意

- 商品の施工については必ず取付説明書にしたがってください。また、施工完了後に取付説明書・取扱説明書をお施主様にお渡しください。
- 根鉢ホルダー（高さ2.5m以下、葉張り1m以下の中木用）は、緑のガレージD&Sで3ヶ所までとしてください。
- 指定の荷重を超えるような施工はしないでください。
- 地盤面からの手すりの高さを、1.1m以上確保してください。
- 当社指定部材・部品以外は、使用しないでください。
- 受風面積を増加させる製品の取付けはしないでください。
- 土壌に当社指定品以外は、混入しないでください。製品の性能および土壌の排水性が損なわれる場合があります。
- みだりに改造・変更をしないでください。
- 屋根の雪など落下のおそれのある場所へは、設置しないでください。
- この製品を傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
- 基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 縦樋の端末以降の排水については、当社供給範囲外となっておりますので、施主様または施工店様で手配してください。
- エアコン室外機、換気扇の近くに植物を植えると枯れる場合があります。

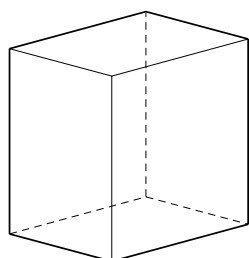
<ガーデニングステージの積載荷重について>

- ガーデニングステージは380kg/m²の荷重に耐える構造です。
- 人工土壌（深さ20cm）および植栽を含め、常時200kg/m²の固定荷重を負担しており、人などの180kg/m²の積載荷重の加算を想定しています。
- また、180kg/m²は積雪60cmに相当します。

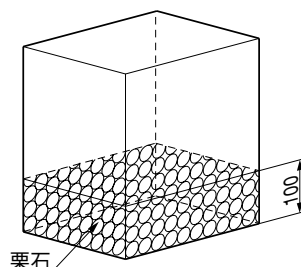
<基礎について>

- ガーデニングステージは、部材重量が大きいので基礎に捨てコンを打ちレベルを出しておく必要があります。
- 基礎の寸法は基本寸法図を参照してください。
- コンクリート施工は、（P12「13.側桁カバーの組付け」）終了後に行ない、硬化後それ以降の作業に進んでください。

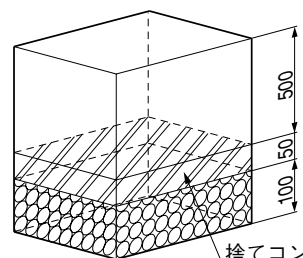
① 穴を掘る。



② 栗石を敷く。



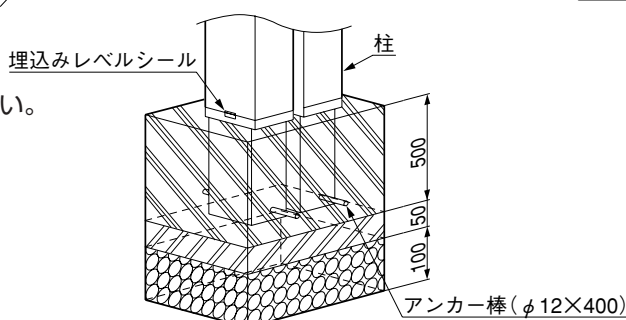
③ 捨てコンを打ち、レベルを出す。



- アンカー棒（φ12×400）は必ず施工してください。

<現場加工について>

- 木材の切断加工があります。



■梱包明細書

1 ガレージ用ボルト・ネジセット

名 称	員 数
部材組付ボルト M10×25六角ボルトセムス	210(10)
部材組付ネジ1 φ4×16ナベピラス	230(42)
部材組付ネジ2 φ4×20ナベ2種(G=5)	18(2)
部材組付ネジ3 φ4×19サラピラス	10(2)
床材組付ネジ1 φ4×13ナベピラス	170(24)
柱雨樋カバー組付ネジ φ4×19ナベピラス(樹脂座金付)	30(6)

2 柱セット

名 称	員 数
支柱	1

3 柱雨樋カバーセット

名 称	員 数
柱雨樋カバーA	2
柱雨樋カバーB	4
柱雨樋カバーC	2
丸樋 φ42 L=2253	1
孔ふさぎプレート	2
プレートパッキン	2
雨樋カバーキャップ	2
キャップパッキン	2

4 桁セット

名 称	員 数
桁	1

5 側桁セット

名 称	員 数
側桁	1
側桁カバー1 L=2865	1
側桁カバー2 L=1182	2

6 前後桁・前後幕板セット

名 称	員 数
前後桁	1
前後幕板	1
地中梁受け	1

7 梁セット

名 称	員 数
梁	1

8 小梁セット

名 称	員 数
小梁	4

9 側面幕板セット

名 称	員 数
側面幕板	2

10 床調整材セット

名 称	員 数
端部用床調整材A	1
端部用床調整材B	1
床調整材	7
床材スペーサー	48

11 床材セット

名 称	員 数
床材	1

12 地中桁セット

名 称	員 数	
	A	B
地中桁A	2	—
地中桁B	—	2
地中桁組付ネジ φ4×16ナベピラス	8	8

13 ガレージ部品セット

名 称	員 数
柱金具(1)-A	4
柱金具(1)-B	4
柱金具(2)	4
桁組付金具	8
前後桁組付金具	4
梁組付金具(A)-右	2
梁組付金具(A)-左	2
梁組付金具(B)-右	2
梁組付金具(B)-左	2
小梁組付金具	8
柱金具裏板(2)	4
前後桁・梁・小梁組付金具裏板	12
幕板コーナー金具	4
コーナーカバー	4
コーナーカバープレート	8
雨樋カバー発泡材	2
雨樋部品セット(14雨樋部品セット参照)	1
コーキング剤	1
アンカー棒 φ12 L=400	8
取付説明書(ガレージ用)	1
取付説明書(ステージ手すり用)	1
取扱説明書(ガーデニングステージ)	1
取扱説明書(木材)	1

14 雨樋部品セット

名 称	員 数
アタッチメント	2
アタッチメントパッキン	2
丸樋アタッチメント	2
丸樋アタッチメントパッキン	2
丸樋(5) φ42 L=180	2
100°丸エルボ	6
丸樋受け	4
丸樋受けパッキン	4
アタッチメント固定ネジ φ4×16ナベピラス	8
丸樋受け固定ネジ φ4×10トラス3種(D=8)	8
接着剤	1

15 デッキ張り用ネジセット

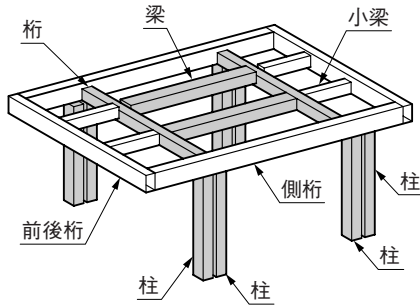
名 称	員 数
ウッドデッキ床板固定ネジ φ4×50サラピラス	100

人工軽量土壌システム・デッキ張り用各部材

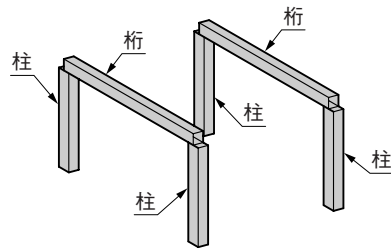
名 称
耐根・防水シート(4m×12m)
不織布(1.6m×6.5m)
保水排水パネル
自然浴の土
自然浴のたいひ
マルチング材
デッキ張り用根太
デッキ張り用木口材

※()員数は、予備ネジ数です。

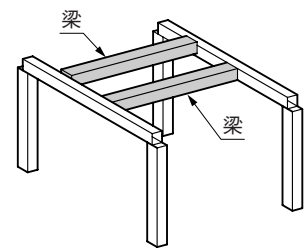
1. 組付手順



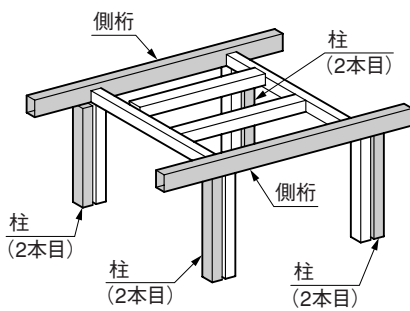
■: スチール補強入部材



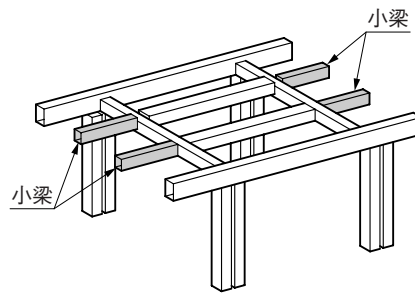
① 柱と桁の組付け



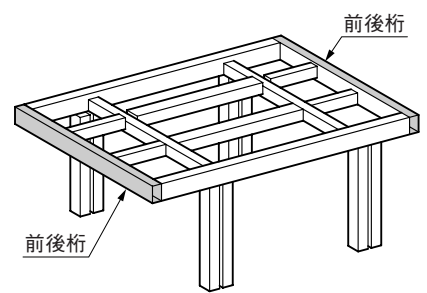
② 梁の組付け



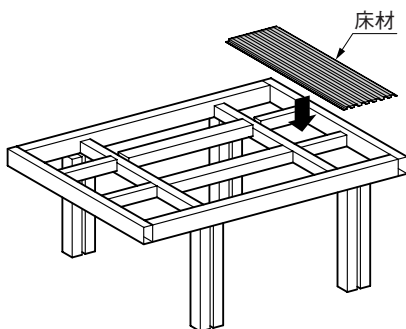
③ 側桁と柱(2本目)の組付け



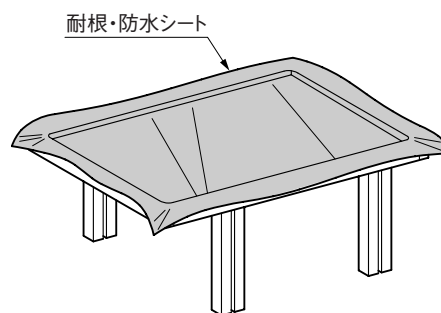
④ 小梁の組付け



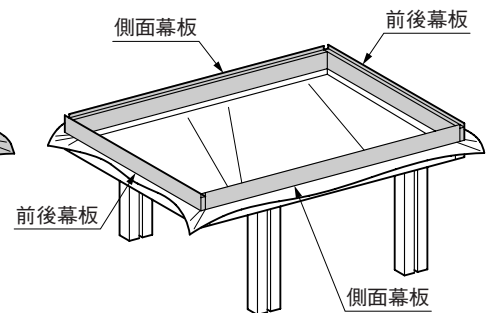
⑤ 前後桁の組付け



⑥ 床材の組付け



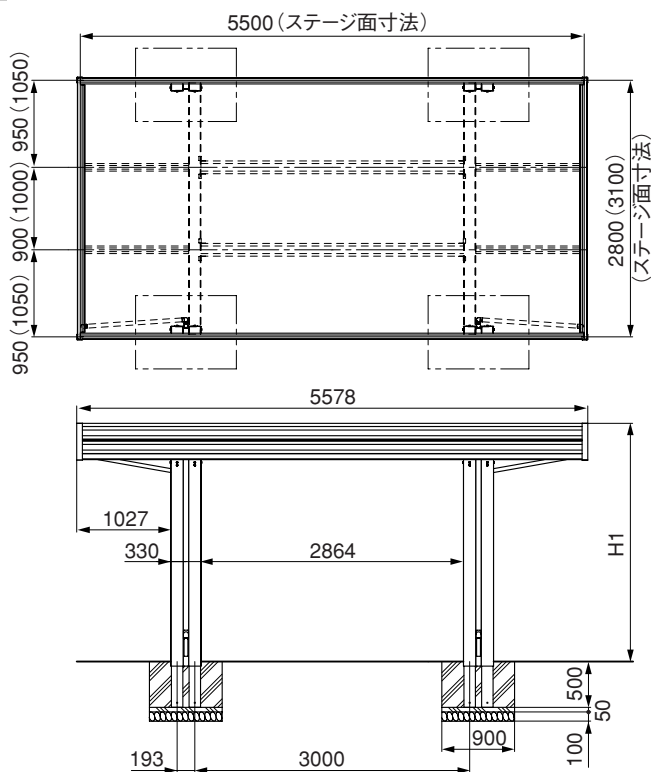
⑦ 耐根・防水シートの組付け



⑧ 前後幕板・側面幕板の組付け

2. 基本寸法図

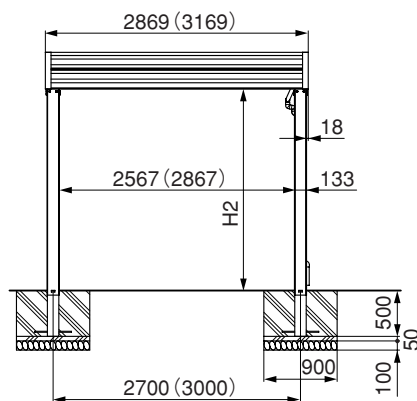
2-1 ガレージ(基本)



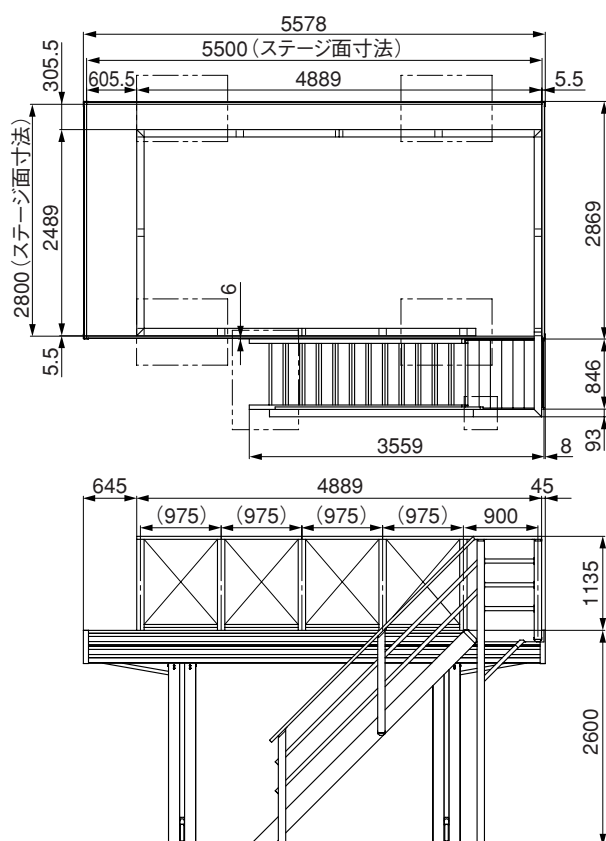
呼 称	H1寸法	H2寸法
ガレージ標準柱仕様	2600	2200
ガレージロング柱仕様	3100	2700

<注 意>

- 図は、28-55サイズ(標準柱仕様)を示します。
- () 内寸法は、31-55サイズを示します。
- (ステージ面寸法)とは、ステージ手すりの設置範囲を示します。

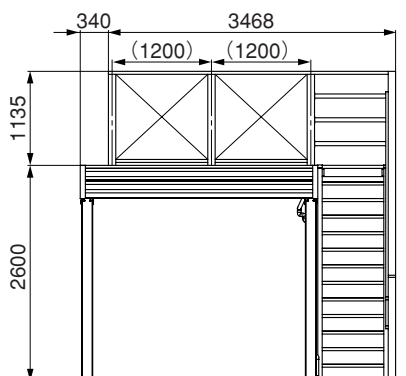


2-2 ガレージ(ステージ手すり、階段付)

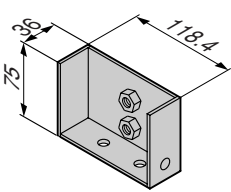


<注 意>

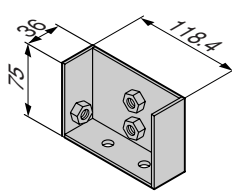
- 図は、28-55サイズ(標準柱仕様)を示します。
- 図は、右側階段、前面張出:600, 側面張出:300を示します。



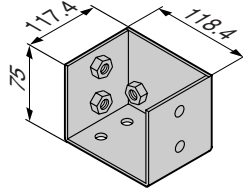
3. 組付部品および裏板類



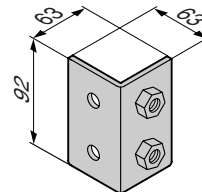
柱金具(1)-A



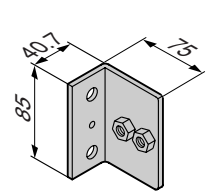
柱金具(1)-B



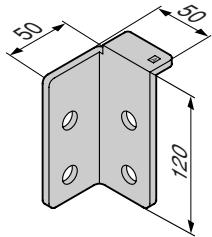
柱金具(2)



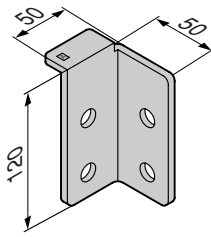
桁組付金具



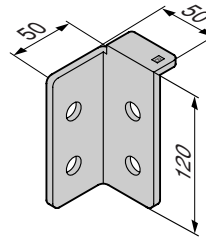
前後桁組付金具



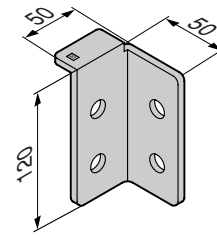
梁組付金具(A)-右



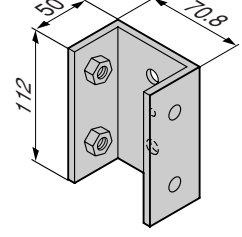
梁組付金具(A)-左



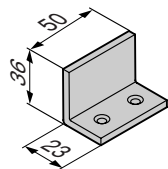
梁組付金具(B)-右



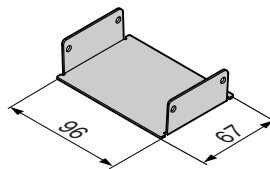
梁組付金具(B)-左



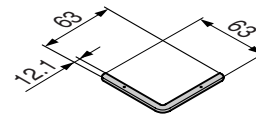
小梁組付金具



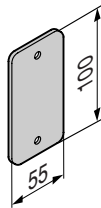
幕板コーナー金具



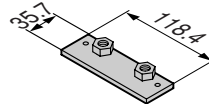
雨樋カバーキャップ



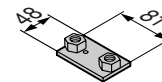
コーナーカバープレート



孔ふさぎプレート

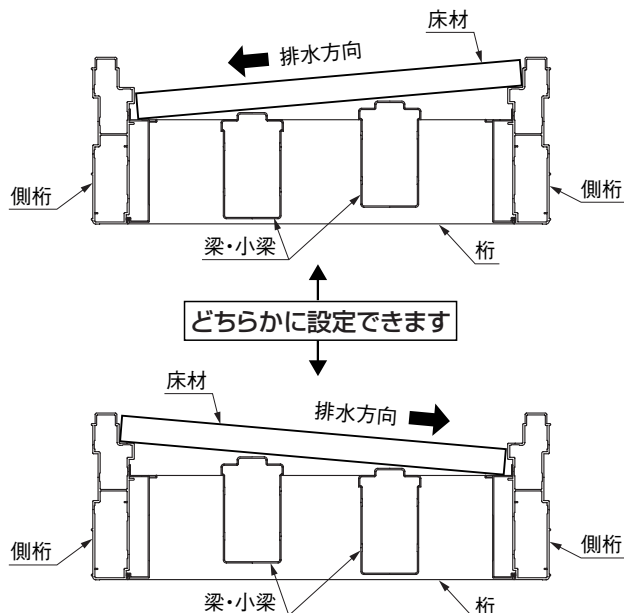


柱金具裏板(2)



前後桁・梁・小梁組付金具裏板

4. ステージ面の排水について



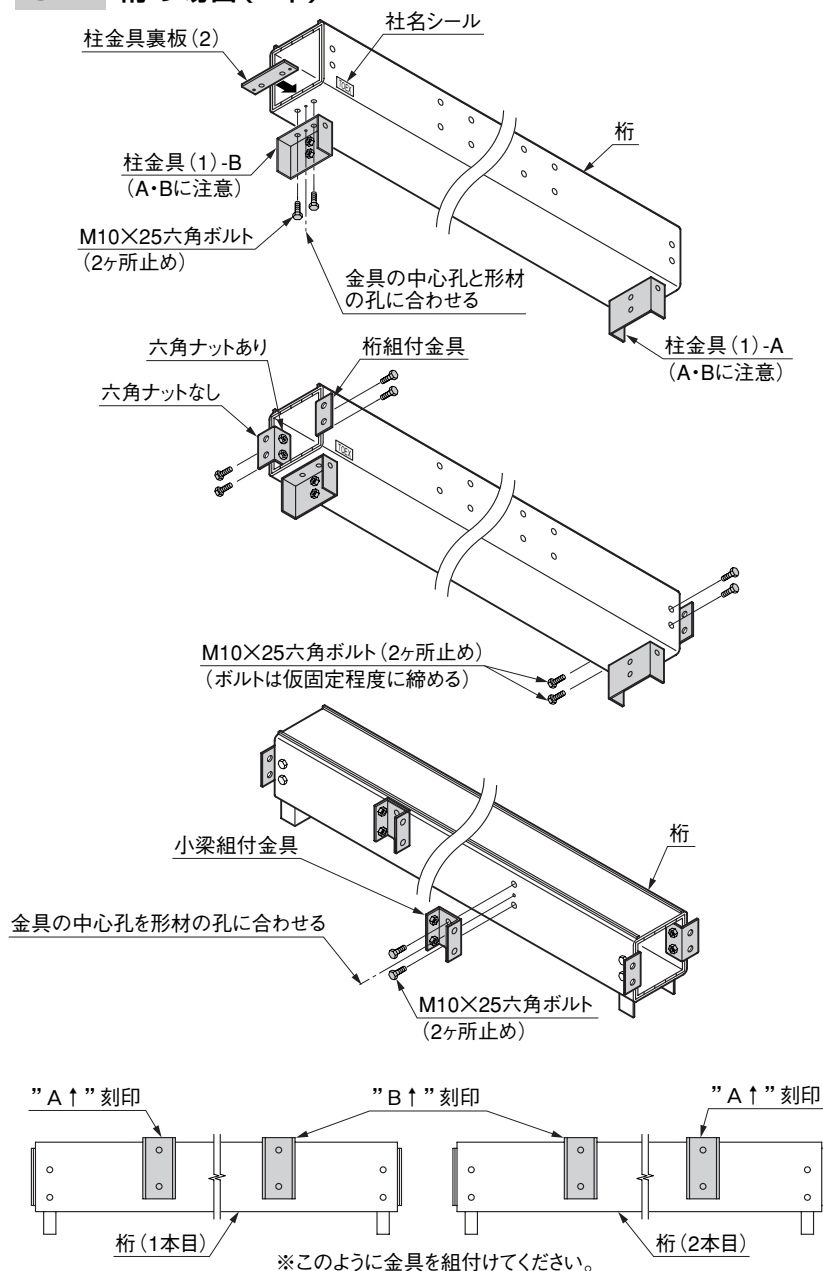
- 緑のガレージD&Sは、左右どちらかの側面から排水する構造になっています。排水する方向は、部材の組付け方によりどちらかに設定できます。(詳細に関しては、「25.納まり図」を参照してください。)

<注 意>

- 組付部品に刻印されている”A””B””A↑””B↑”の記号は、排水方向を決めるための重要な記号です。(詳細に関しては、「各部材の組付け」を参照してください。)

5. 各部材への部品の組付け

5-1 桁の場合(2本)



① 桁に柱金具(1)-A・Bを組付けてください。

<注 意>

- 金具の中心孔を利用し、金具の位置決めをしてください。
- 柱金具(1)-A・Bの位置および向きに注意してください。(社名シールの位置による)
- ボルトはしっかり締込んでください。

この金具は、柱の中に入るため、金具の位置は慎重に合わせてください。また、組付けのボルトはしっかり締込んでください。

② 桁組付金具を組付けてください。

<注 意>

- 桁組付金具の向きに注意してください。
- ボルトは完全に締まらず、仮固定程度にしてください。

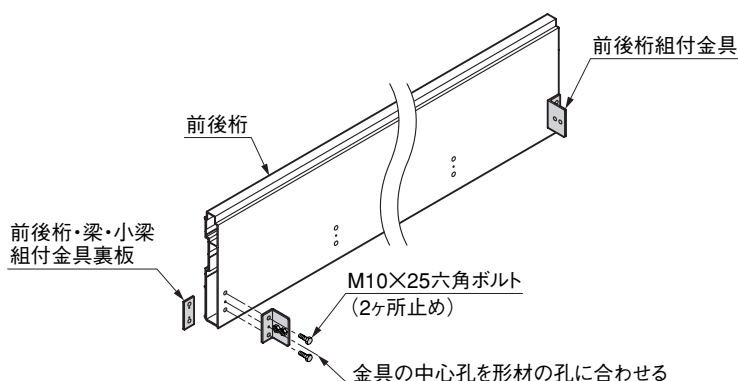
③ 社名シールの貼っていない面に小梁組付金具を組付けてください。

<注 意>

- 金具の中心孔を利用し、金具の位置決めをしてください。
- 小梁組付金具の刻印”A↑””B↑”の向きに注意してください。
- ボルトはしっかり締込んでください。

この金具は小梁の中に入るため、金具の位置は慎重に合わせてください。また、組付けのボルトはしっかり締込んでください。

5-2 前後桁の場合(2本)



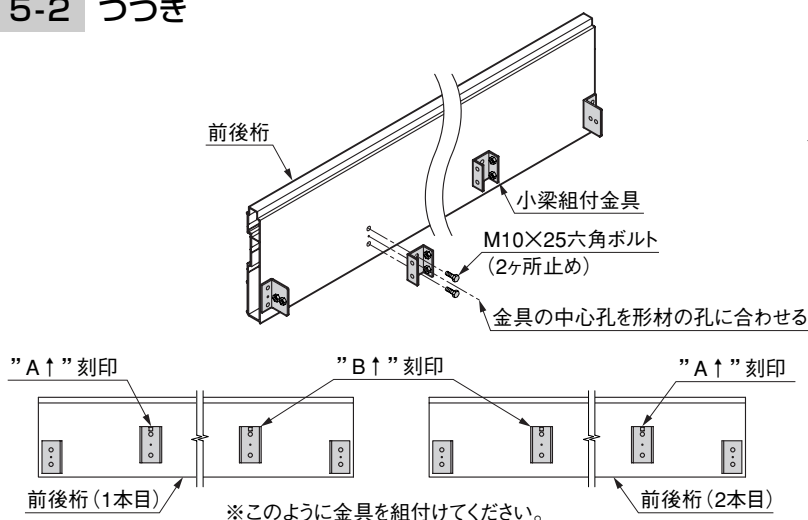
① 前後桁に前後桁組付金具を組付けてください。

<注 意>

- 金具の中心孔を利用し、金具の位置を決めてください。
- ボルトはしっかり締込んでください。

この金具は側桁の中に入るため、金具の位置は慎重に合わせてください。また、組付けのボルトはしっかり締込んでください。

5-2 つづき



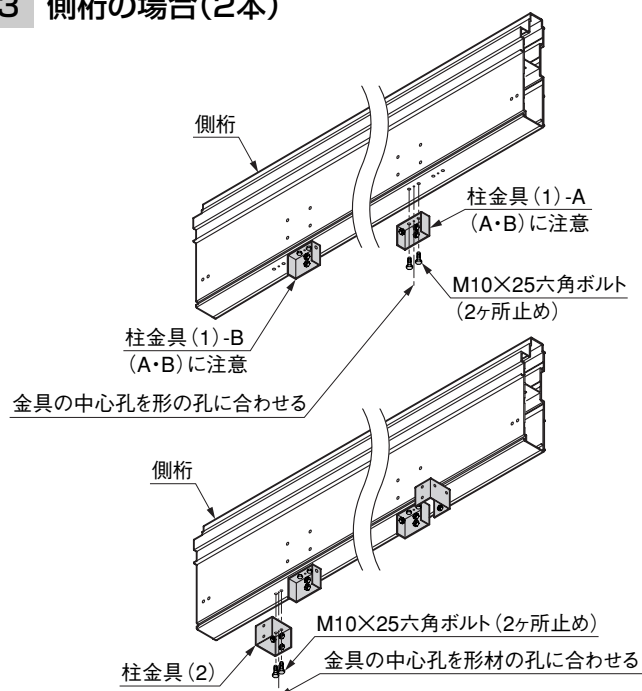
② 小梁組付金具を組付けてください。

<注 意>

- 金具の中心孔を利用し、金具の位置を決めをしてください。
- 小梁組付金具の刻印 "A↑" "B↑" の向きに注意してください。
- ボルトはしっかり締込んでください。

この金具は小梁の中に入るため、金具の位置は慎重に合わせてください。また、組付けのボルトはしっかり締込んでください。

5-3 側桁の場合(2本)



① 側桁に柱金具 (1)-A・Bを組付けてください。

<注 意>

- 金具の中心孔を利用し、金具の位置決めをしてください。
- 柱金具 (1)-A・Bの位置に注意してください。
- ボルトはしっかり締込んでください。

この金具は柱の中に入るため、金具の位置は慎重に合わせてください。また、組付けのボルトはしっかり締込んでください。

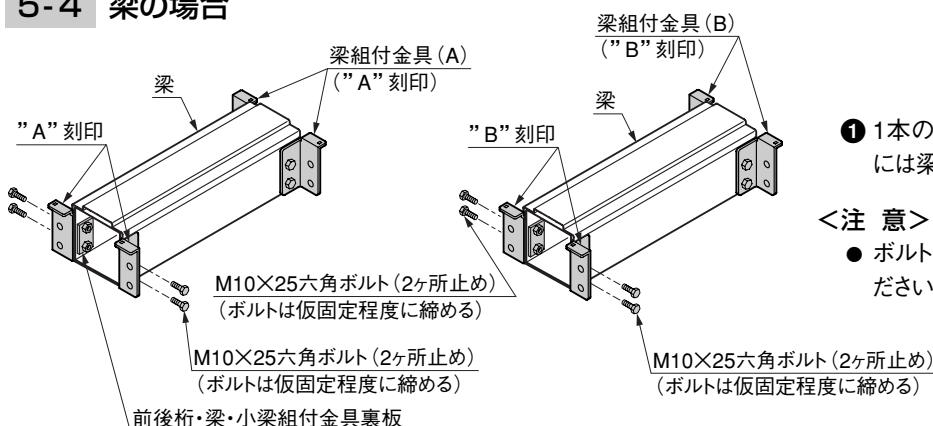
② 柱金具 (2) を組付けてください。

<注 意>

- 金具の中心孔を利用し、金具の位置決めをしてください。
- 柱金具 (2) の位置に注意してください。

この金具は柱の中に入るため、金具の位置は慎重に合わせてください。また、組付けのボルトはしっかり締込んでください。

5-4 梁の場合

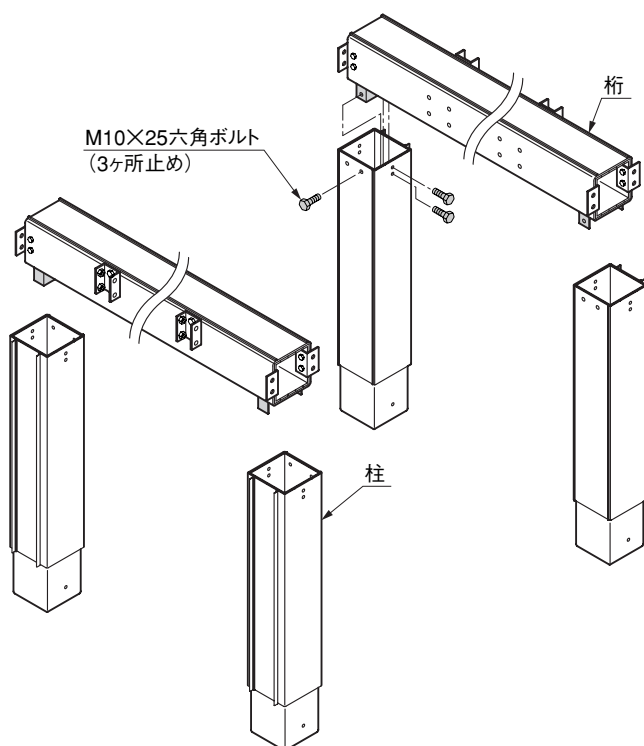


① 1本の梁には梁組付金具 (A) を、もう1本の梁には梁組付金具 (B) を組付けてください。

<注 意>

- ボルトは完全に締まらず、仮固定程度にしてください。

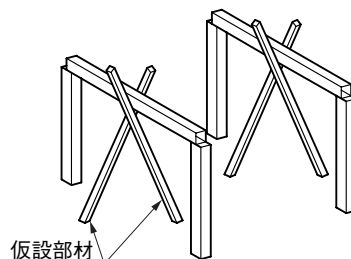
6. 柱と桁の組付け



- ① 柱金具(1)を柱の中に差込み、M10×25六角ボルトで組付け、立ち上げてください。

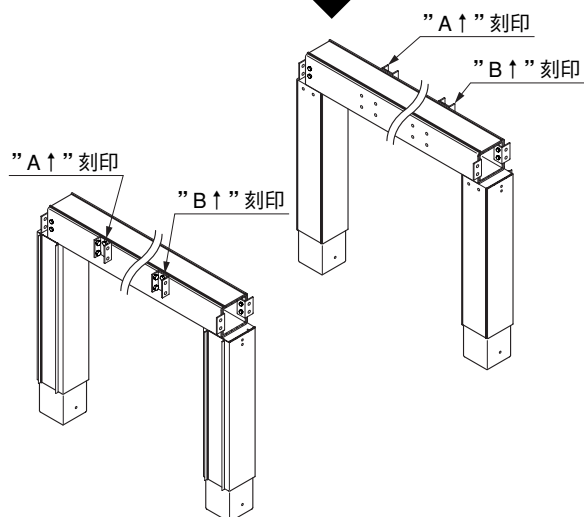
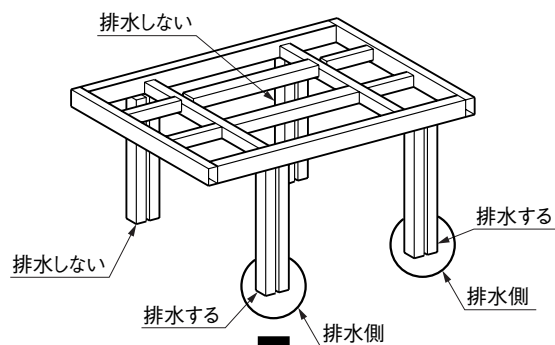
<注 意>

- ボルトは完全に締まらず、仮固定程度にしてください。
- 部材は重たいので取扱いには十分注意してください。
- 仮設部材等で倒れないようにしてください。

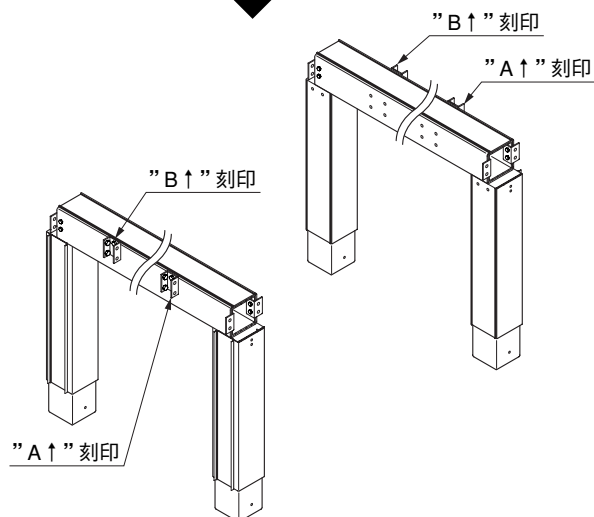
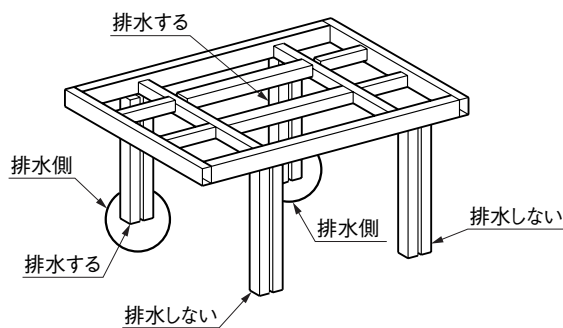


<重要注意>

- 緑のガレージD&Sは、間口の片側から排水する構造になっています。したがって排水する方向により桁の向きが異なりますので、事前に排水方向の確認をしてください。
(下図<例1, 2>、「4.ステージ面の排水について」参照)



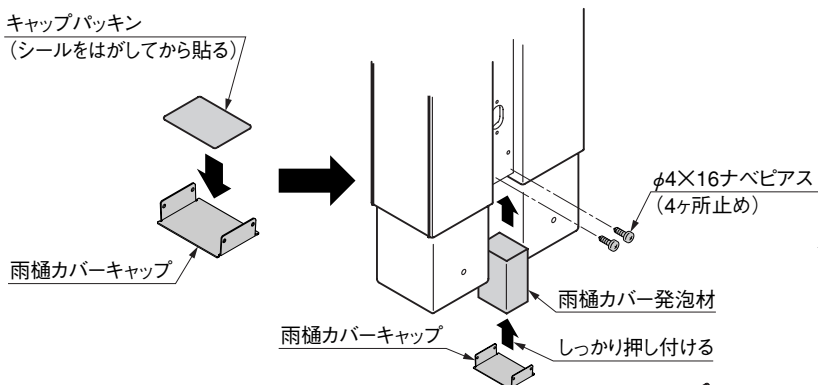
<例1>



<例2>

8. つづき

キャップパッキン
(シールをはがしてから貼る)

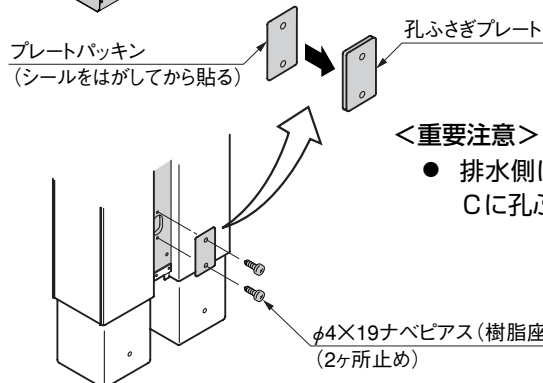


- ② 雨樋カバー発泡材を挿入し、雨樋カバーキャップにキャップパッキンを貼り、柱雨樋カバーの下面に組付けてください。(排水側の柱のみ)

<注 意>

- キャップパッキンを雨樋カバーにしっかり押し付けてください。

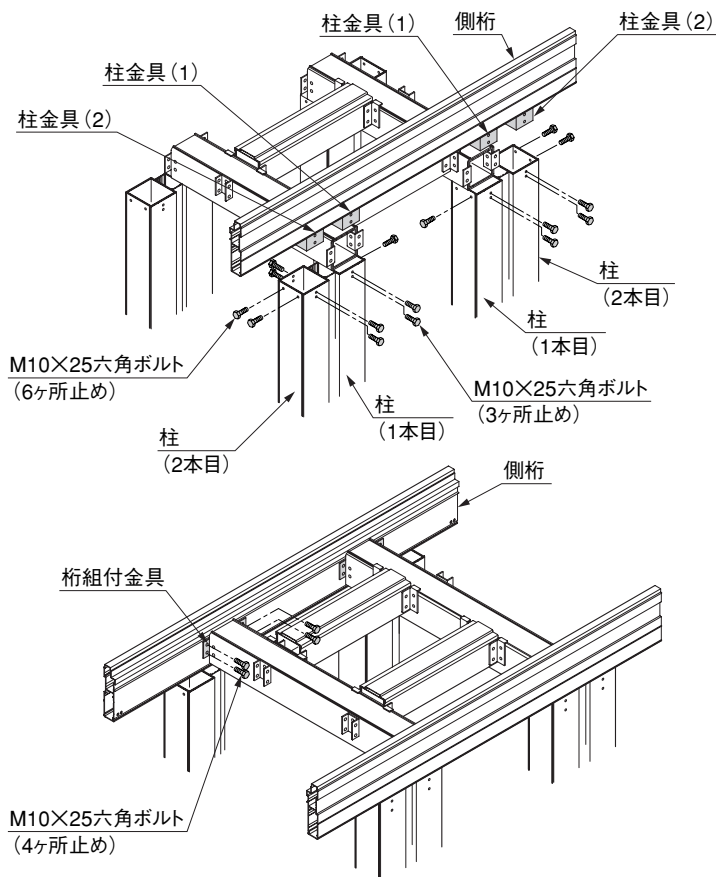
プレートパッキン
(シールをはがしてから貼る)



<重要注意>

- 排水側に壁などがある場合、雨樋カバーCに孔ふさぎプレートを組付けてください。

9. 側桁の組付け



- ① 側桁に組付いている柱金具(1)および柱金具(2)を柱の中に差込み、M10×25六角ボルトで組付けてください。

<注 意>

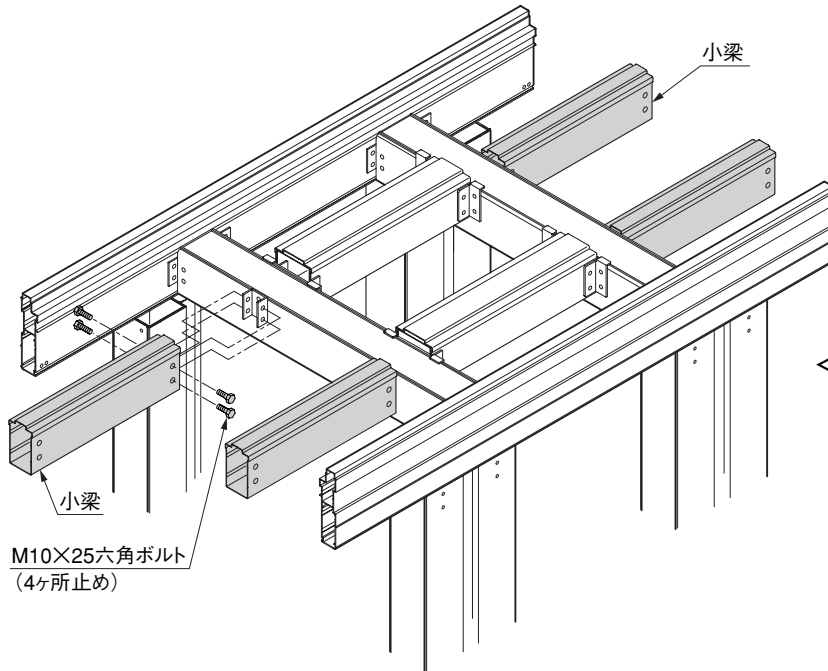
- ボルトは完全に締まらず、仮固定程度にしてください。

- ② M10×25六角ボルトで桁組付金具と側桁を固定してください。

<注 意>

- ボルトは完全に締まらず、仮固定程度にしてください。

10. 小梁の組付け

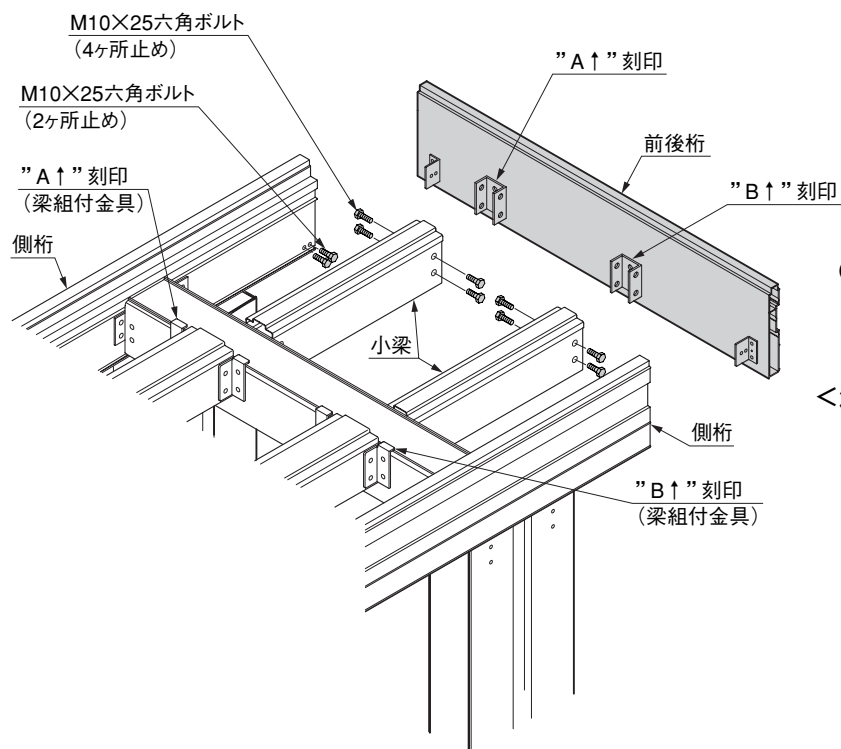


① 小梁を組付けてください。

<注 意>

- ボルトは完全に締込まず、仮固定程度にしてください。

11. 前後桁の取付け

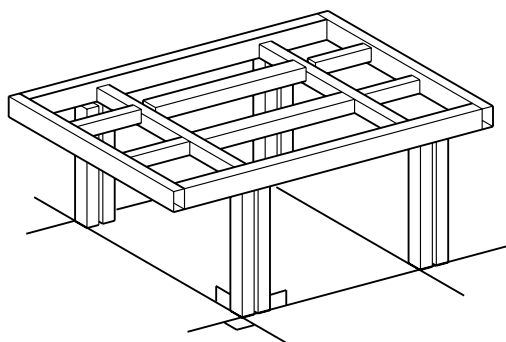


① 前後桁組付金具を側桁の中に、小梁組付金具を小梁の中に差込み、M10x25六角ボルトで組付けてください。

<注 意>

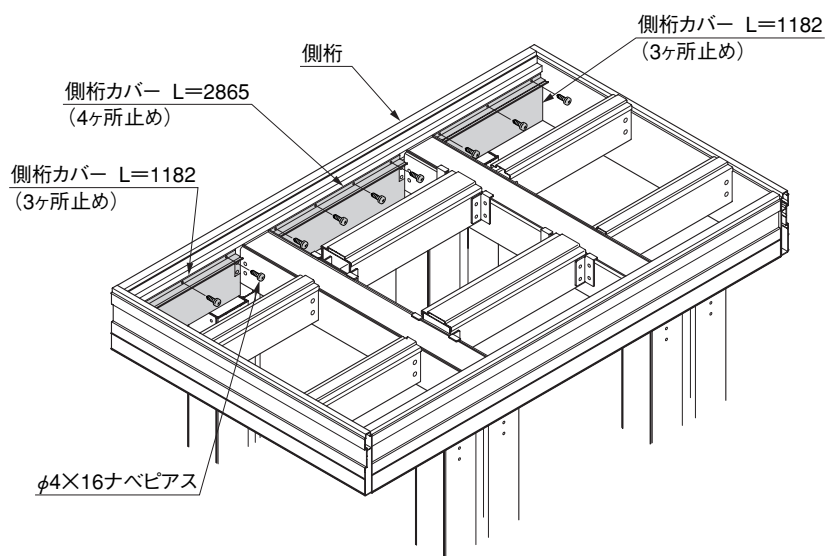
- ボルトは完全に締込まず、仮固定程度にしてください。
- “A”刻印のある梁組付金具の向きに“A↑”刻印のある小梁組付金具を向けてください。

12. 組付ボルトの本締め

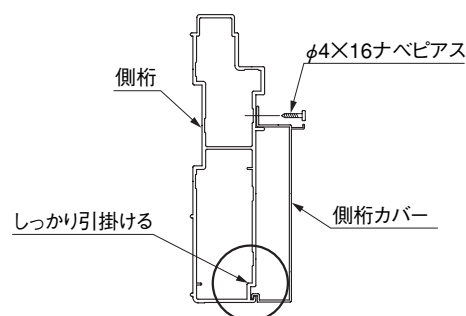


- ① 各部材の水平・垂直を出し、仮固定のボルトを本締めしてください。

13. 側桁カバーの組付け



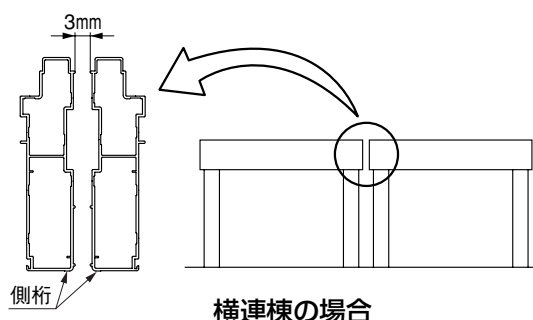
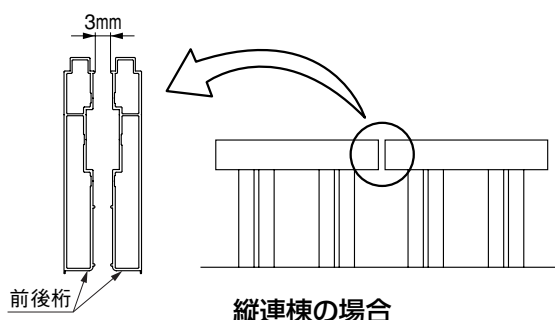
- ① 側桁に側桁カバーを引掛け、φ4×16ナベピースで組付けてください。



14. 柱基礎部のコンクリート打設について

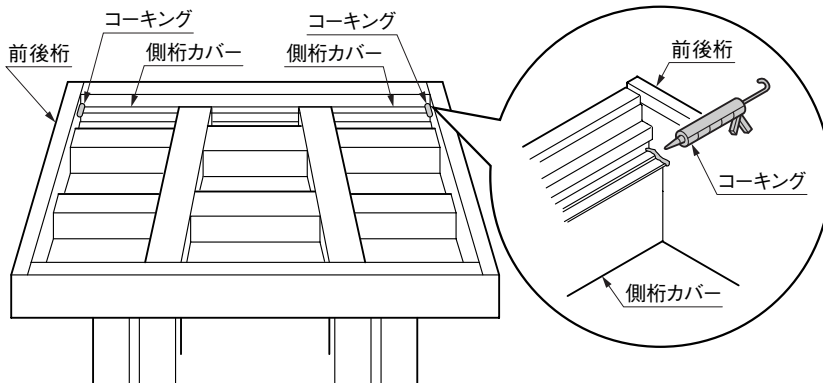
- 階段(オプション)を取付ける場合は、組付ボルトを本締めした後、施工を行なってください。
(「階段(緑のガレージD&S用)」取付説明書参照)

- 連棟するときは、下図のようにガレージ本体にすき間をあけてください。

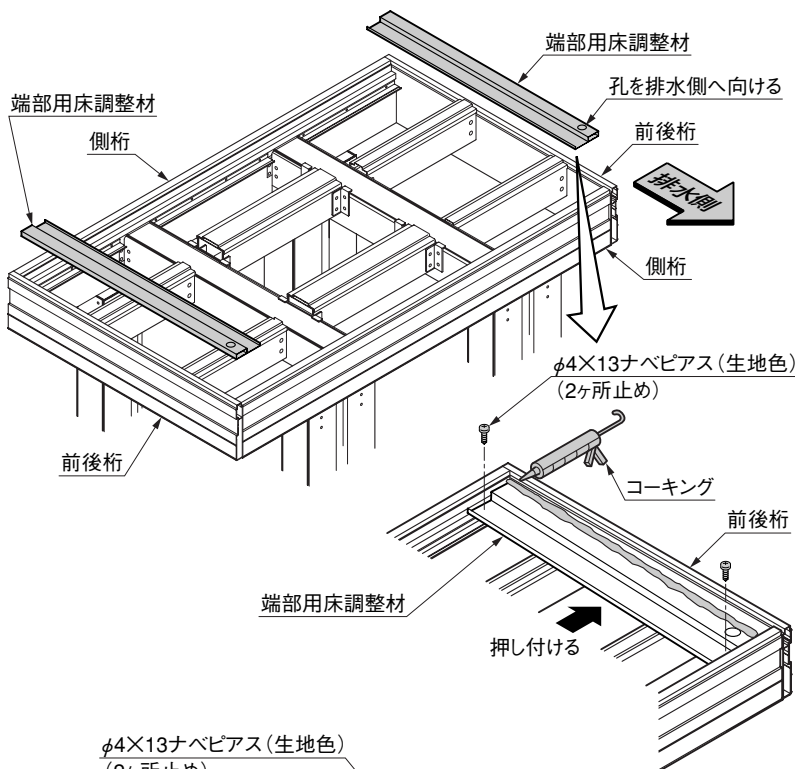


- 「13.側桁カバーの組付け」作業終了後、柱基礎部にコンクリートを打設し、硬化後次の作業にお進みください。

15. 床材の組付け



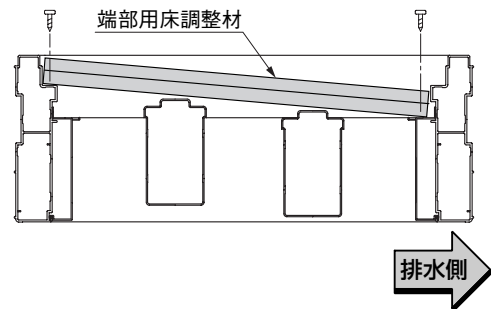
- ① 前後桁と側桁カバーの接合部にコーキングをしてください。(4ヶ所)



- ② 端部用床調整材の孔の向きに注意し、水勾配をとるように組付けてください。

<注 意>

- 部材の固定には、φ4×13ナベピースネジ(生地色)を使用してください。

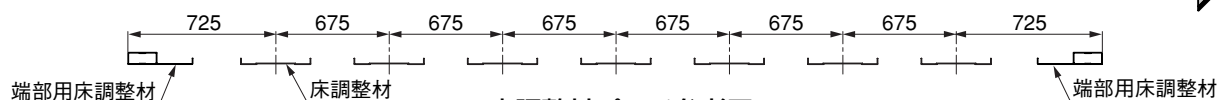
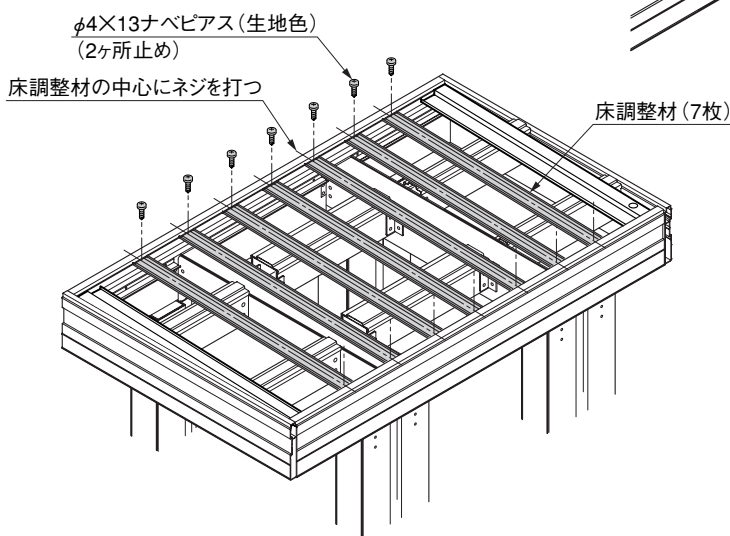
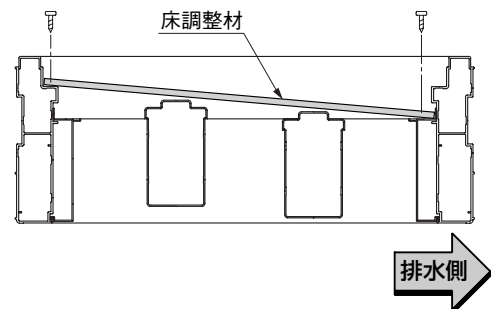


- ③ 前後桁と端部用床調整材の接合部にコーキングをしてください。

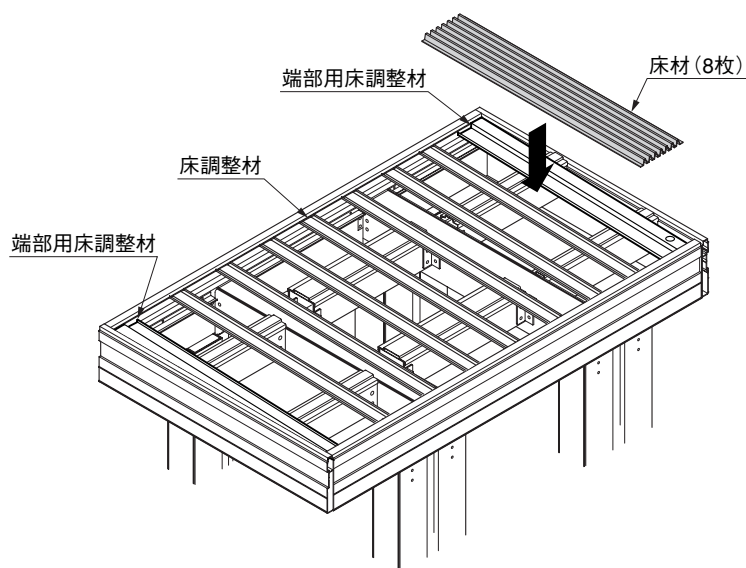
- ④ 下図(床調整材ピッチ参考図)を参考に、床調整材を組付けてください。

<注 意>

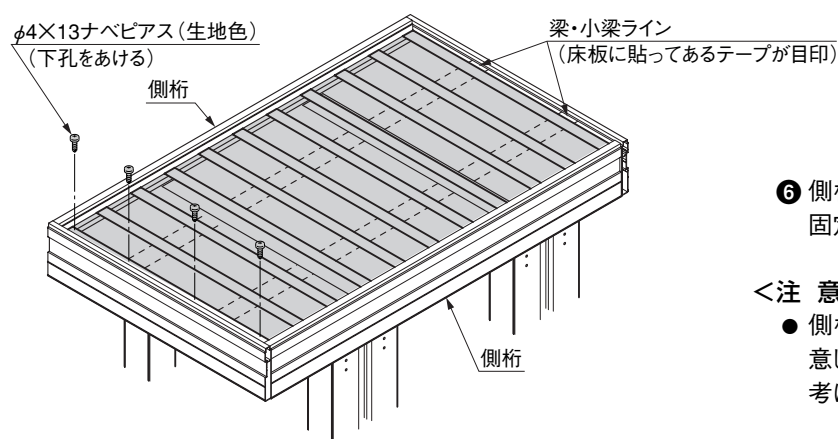
- 部材の固定には、φ4×13ナベピースネジ(生地色)を使用してください。



15. つづき



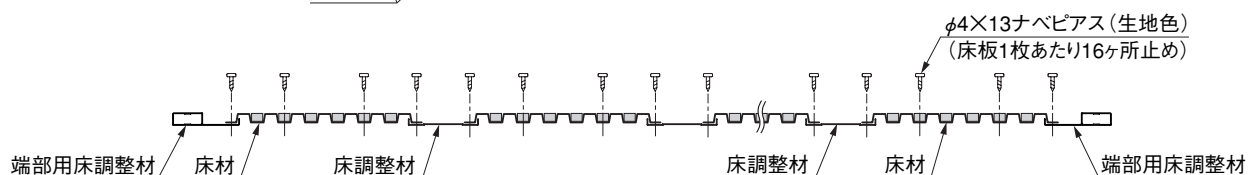
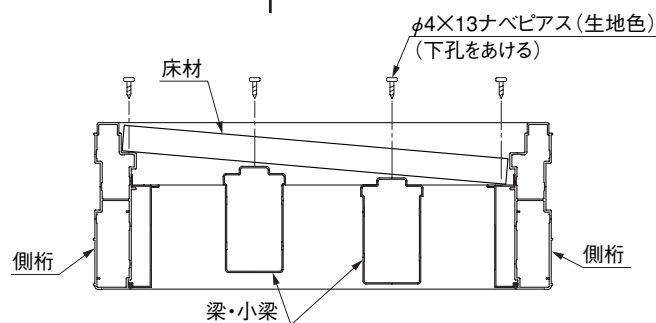
- ⑤ 端部用床調整材, 床調整材の間に床材を乗せてください。



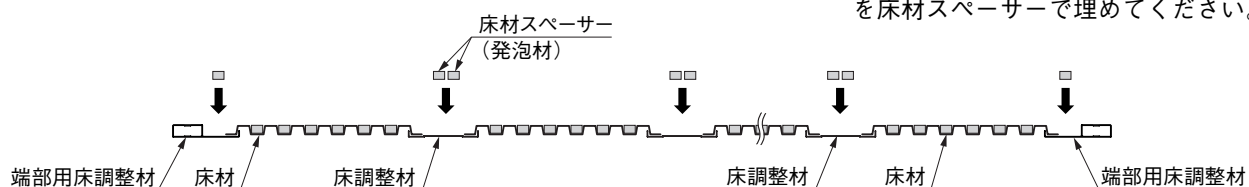
- ⑥ 側桁・梁・小梁のラインに合わせ床材を固定してください。

<注 意>

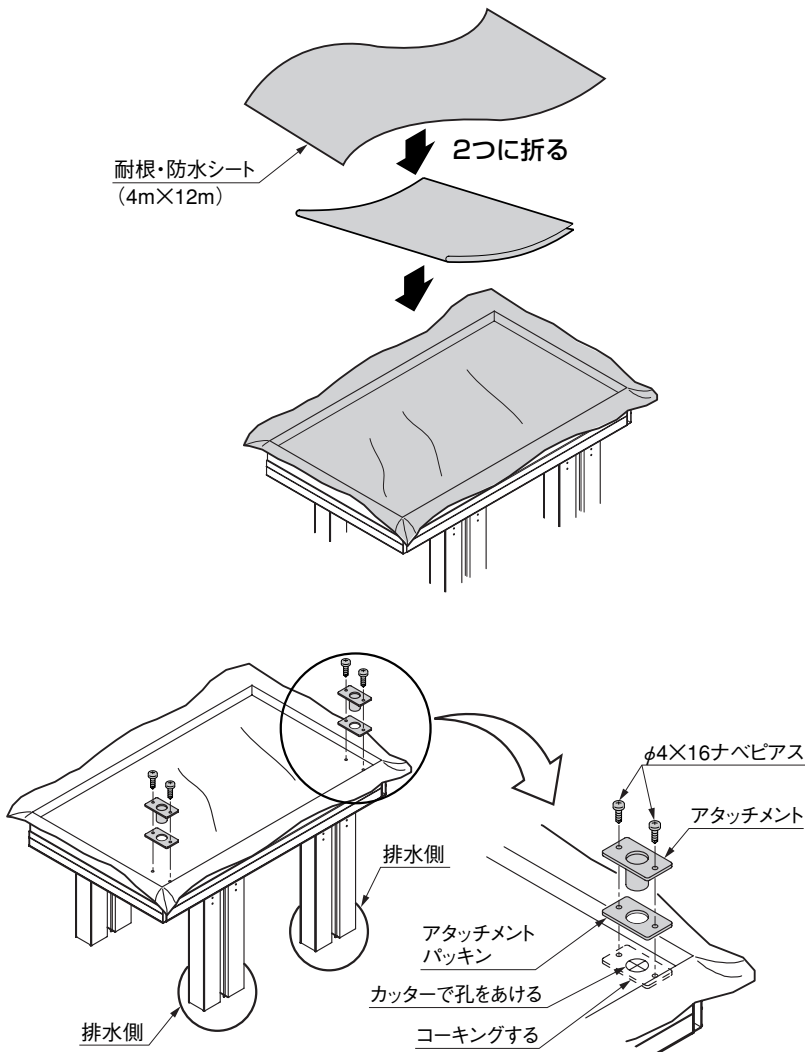
- 側桁・梁・小梁のラインをはずさないように注意してください。(床材に貼ってあるテープを参考にしてください。)



- ⑦ 端部用床調整材および床調整材のくぼみを床材スペーサーで埋めてください。



16. 耐根・防水シートの組付け



<注 意>

- 耐根・防水シートを敷く前に、部品の付け忘れやネジの打ち忘れがないかご確認ください。

- ① 耐根・防水シートを2つ折り、左右均等に敷いてください。

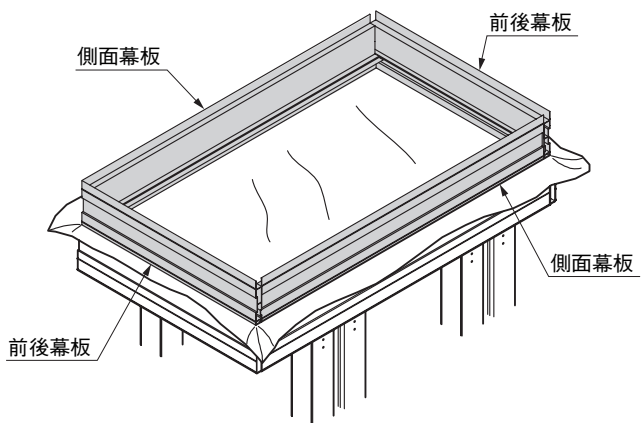
<注 意>

- シートを破らないように気を付けてください。
- 床材上はシワにならないようにシートを敷いてください。

- ② 排水プレートカバーにあいている水抜き孔を手で探し、カッターでシートに孔をあけアタッチメントパッキンとアタッチメントを組付けてください。

- ③ アタッチメントの周りをコーキングしてください。

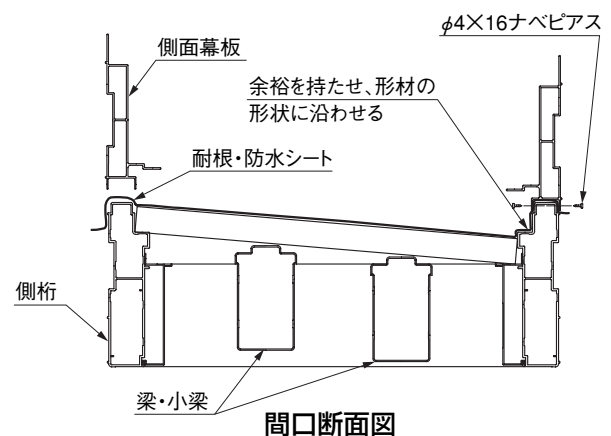
17. 幕板の組付け



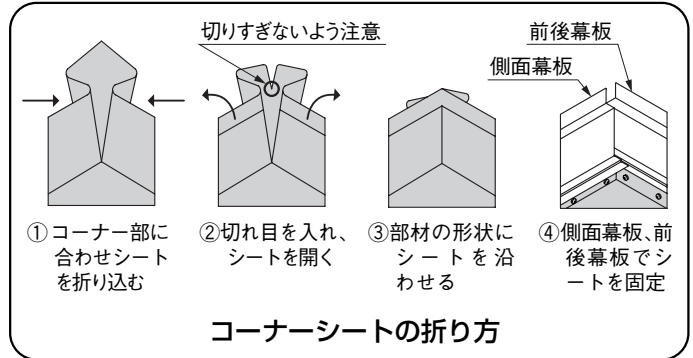
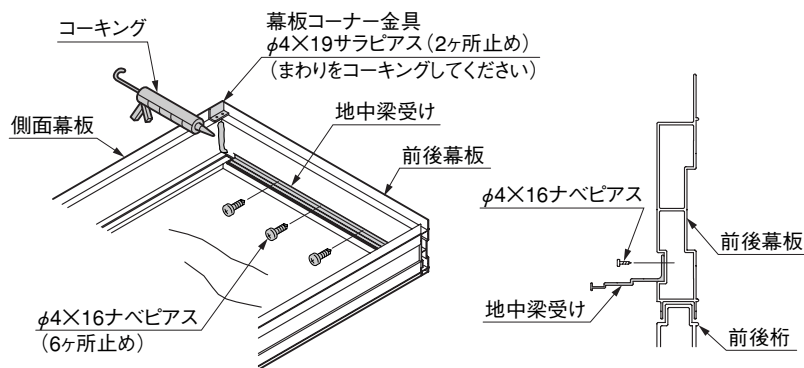
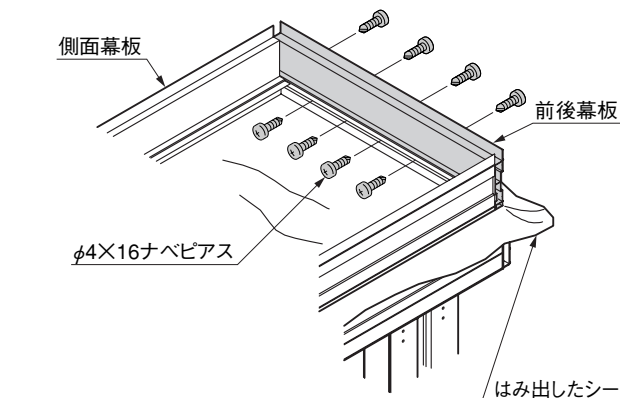
- ① 側面幕板を組付け、シートを固定してください。

<注 意>

- シートは多少余裕をもたせて固定してください。



17. つづき



② 同様に前後幕板を組付けてください。

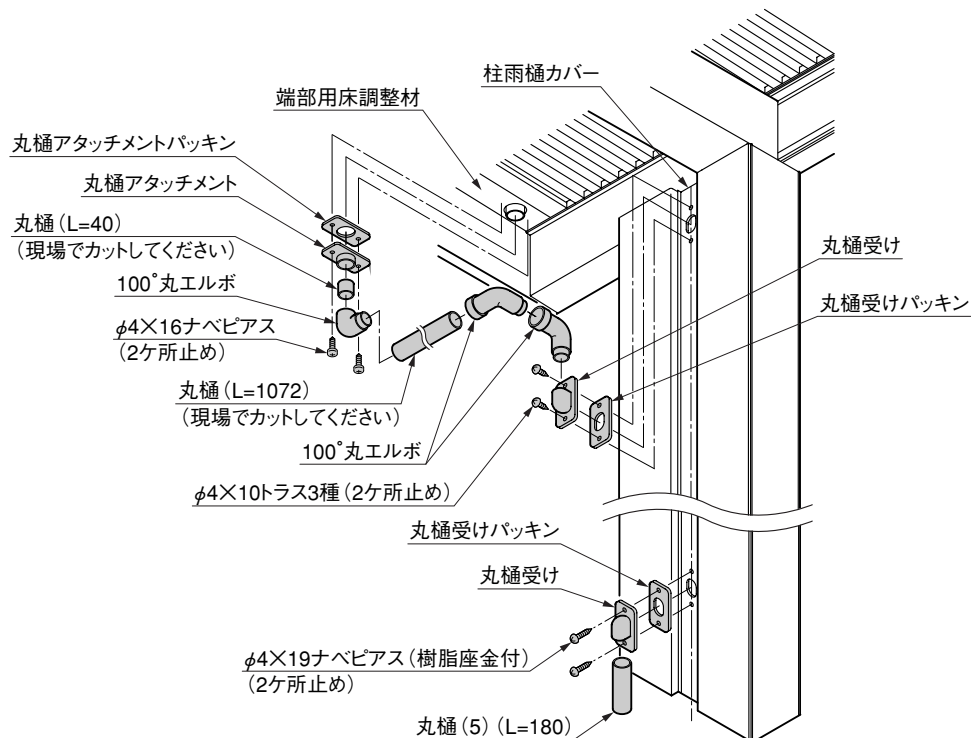
<注 意>

- 側面幕板と前後幕板の付き当て部でシートを破らないように気付けてください。
- ③ 幕板からはみ出したシートをカッターで切ってください。
- ④ 幕板のコーナー部(4ヶ所)に幕板コーナー金具を、前後幕板に地中梁受けをそれぞれ組付け、コーキングをしてください。

<注 意>

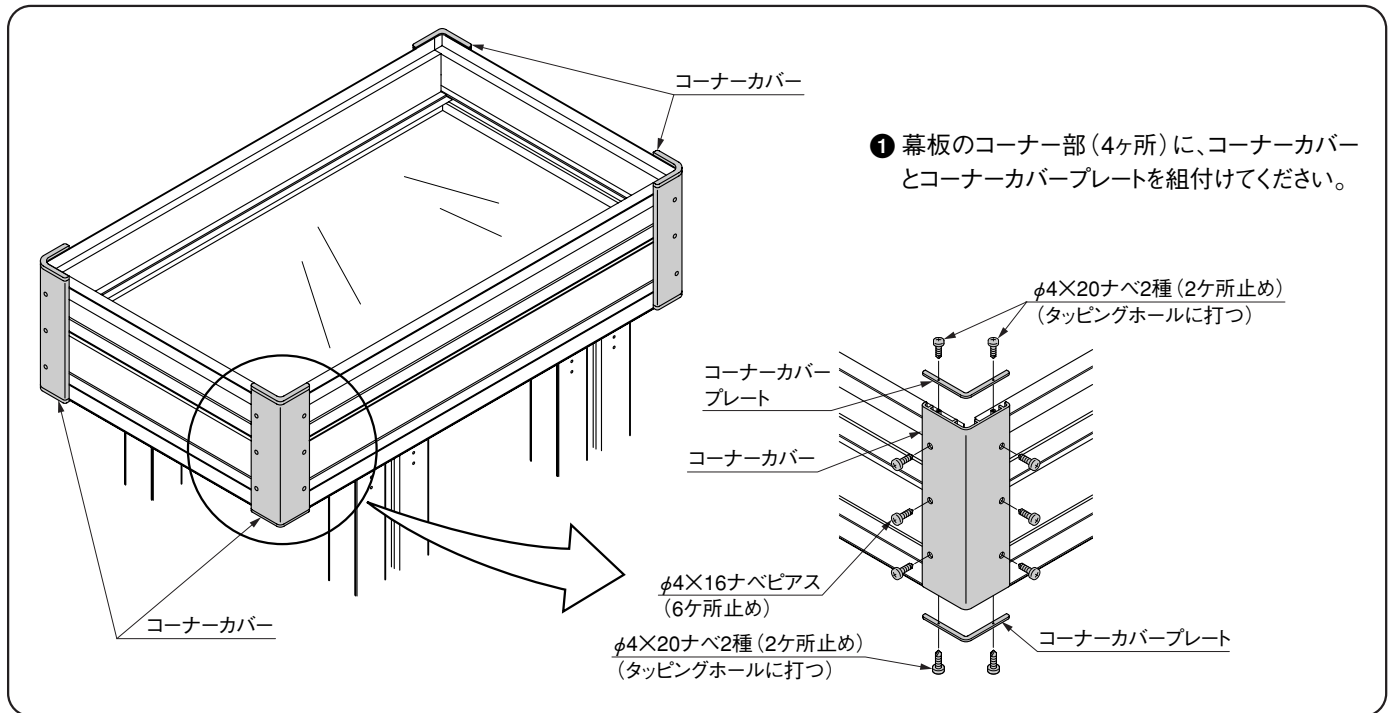
- 幕板が直角になるように組付けてください。

18. 雨樋部品の組付け

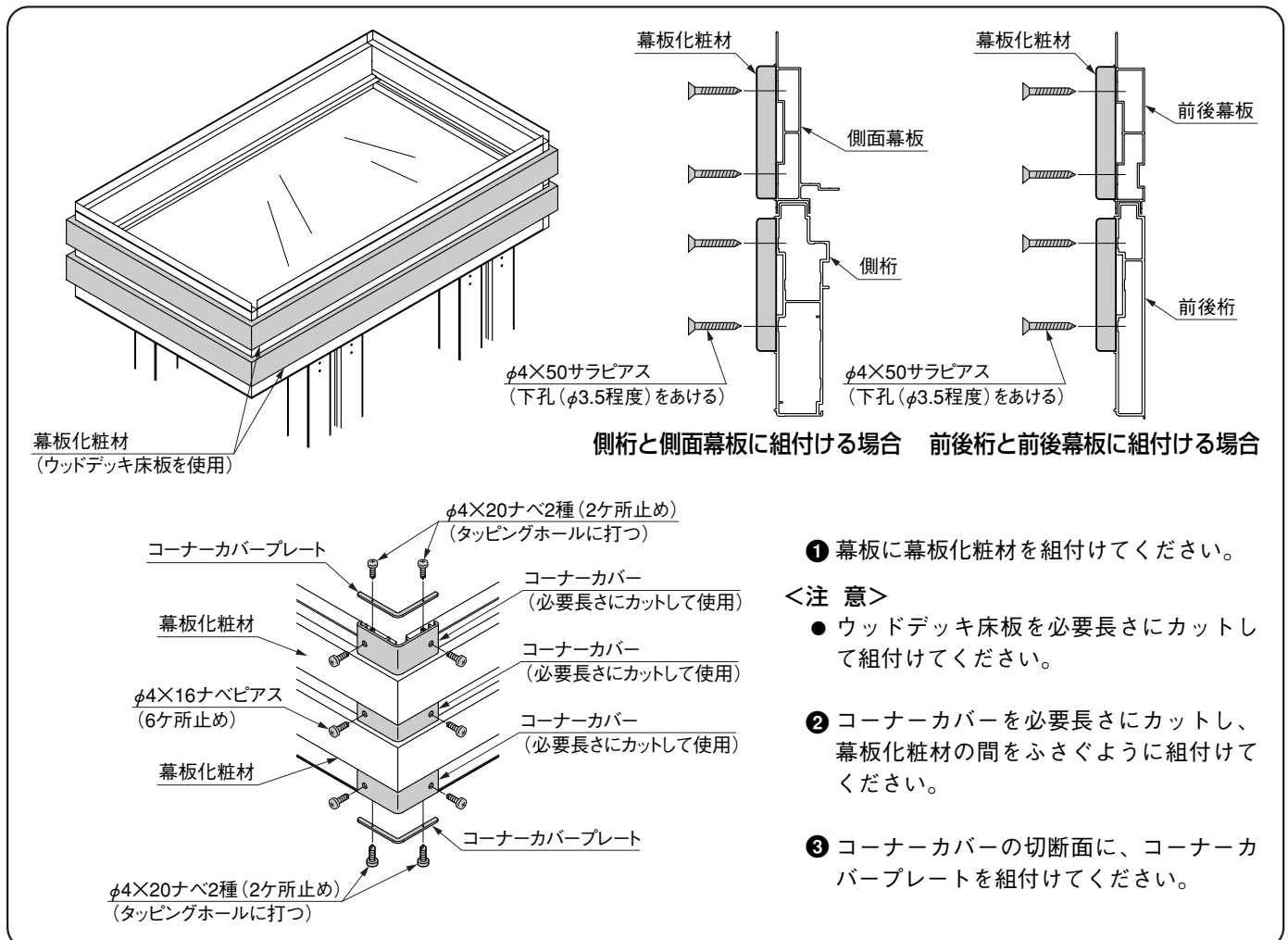


- ① 端部用床調整材に丸樋アタッチメントおよびパッキンを、柱雨樋カバーに丸樋受けおよびパッキンを組付けてください。
- ② 雨樋部品を接着剤で連結してください。(丸樋は、現場で必要長さにカットしてください。)

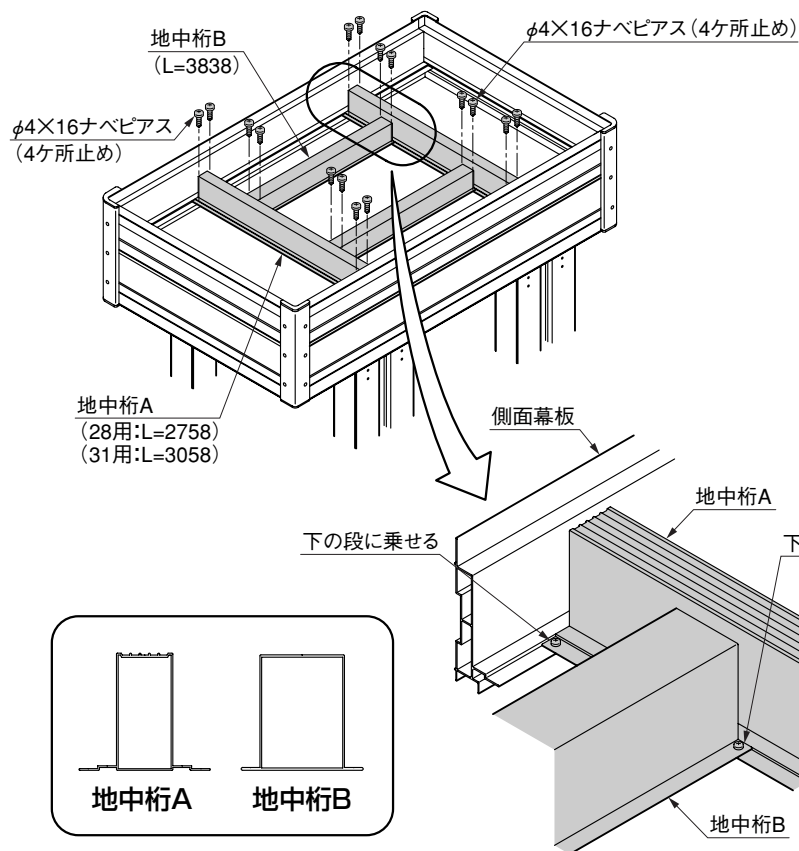
19. コーナーカバーの組付け



20. 幕板化粧材(木材)(オプション)の組付け



21. 地中桁の組付け

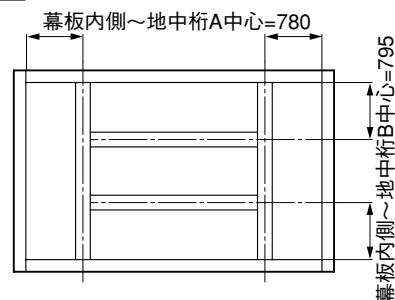


※ステージ手すりを設置しない場合、この作業は必要ありません。

- ① 地中桁 A を側面幕板の内側に組付けてください。
- ② 地中桁 B を地中桁 A に乗せ、組付けてください。

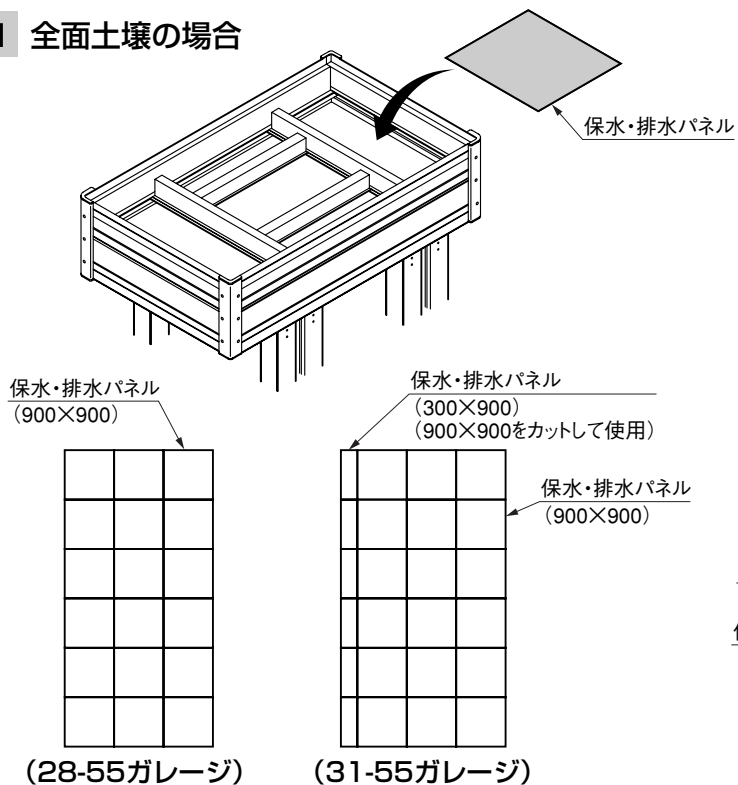
<注 意>

- 耐根・防水シート上は直接歩かないよう、ダンボール等を敷いてください。



22. ステージ面の仕上げ準備

22-1 全面土壌の場合



- ① 保水排水パネルを必要枚数分敷いてください。

<注 意>

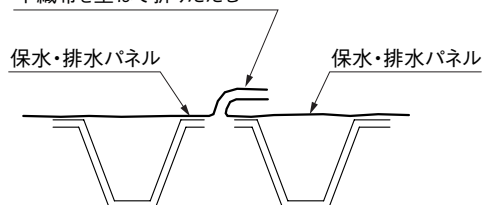
- 端から敷いてください。
- 保水・排水パネルの不織布(布)は重ねて折り返してください。

- ② 地中梁およびステージ手すり支柱を組付けてください。

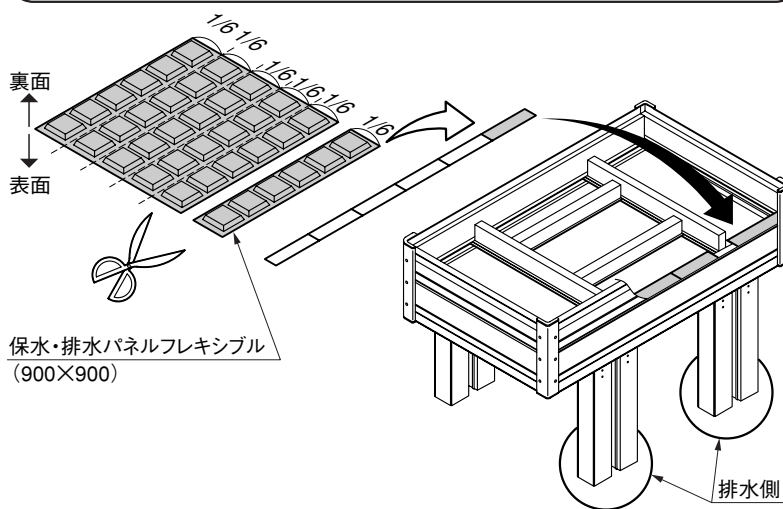
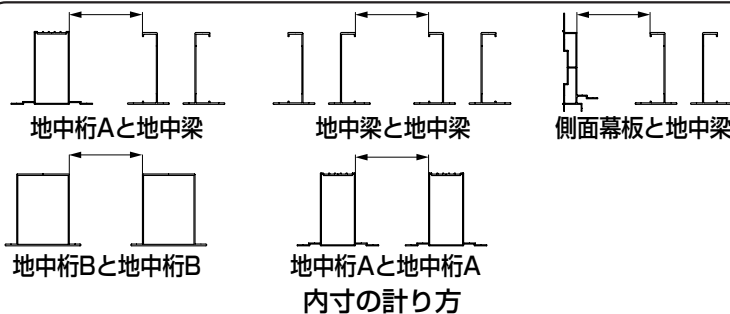
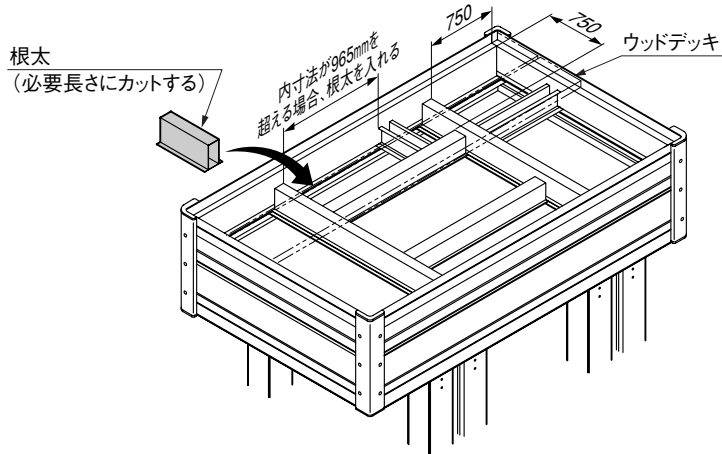
<注 意>

- 組付けは別紙「ステージ手すりD&S」用取付説明書を参照してください。

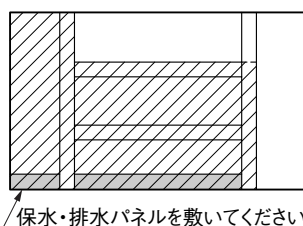
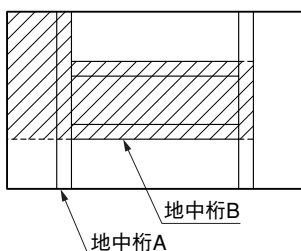
保水・排水パネルの合わせ目は
不織布を重ねて折りたたむ



22-2 全面にウッドデッキを張る場合



22-3 部分的にウッドデッキを張る場合



部分にウッドデッキを張る場合

ウッドデッキ面が排水側に来る場合

① 地中梁を組付けてください。

<注 意>

● 組付けは別紙「ステージ手すりD&S」用取付説明書を参照してください。

② 地中桁および地中梁の内寸法を計り、965mmを越えないように根太を組付けてください。

<注 意>

● ウッドデッキの張る方向に注意して根太を組付けてください。

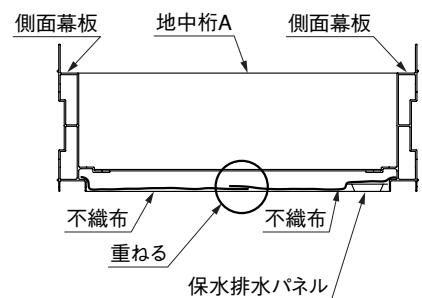
③ 保水排水パネルフレキシブル (900×900) をはさみ等で6等分にしてください。

④ 6等分した保水排水パネルを排水側の端に敷いてください。

⑤ 不織布 (1.6m×6.5m) を床面全体に敷いてください。

<注 意>

● 側面幕板の内側から敷いてください。
● 保水・排水パネルの上にも敷いてください。



① 地中梁を組付けてください。

<注 意>

● 組付けは別紙「ステージ手すりD&S」用取付説明書を参照してください。

② ウッドデッキを張る場所の地中桁および地中梁の内寸法を計り、必要数の根太を組付け、不織布を敷いてください。
(「22-2 全面にウッドデッキを張る場合」参照)

③ ウッドデッキを張らない場所 (土壌面) に必要数の保水排水パネルを敷いてください。
(「22-1 全面土壌の場合」参照)

23.「自然浴の土」の搬入

「自然浴の土」搬入の前に、もう一度ご確認ください。

(1) ステージ手すりを設置する場合は、手すり支柱を組付けます。(別紙「ステージ手すりD&S」用取付説明書参照)

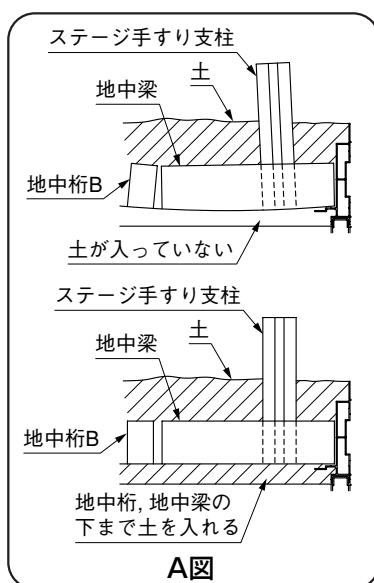
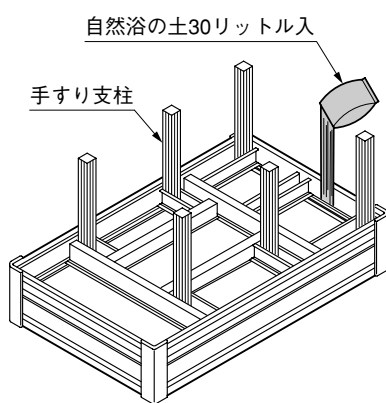


(2) 根鉢ホルダー・根鉢メッシュを設置します。(別紙「根鉢ホルダー・根鉢メッシュ」取付説明書参照)
(植栽位置が決まっていない場合、根鉢ホルダー・根鉢メッシュは設置できません。
その場合は土の搬入後に埋込みます。)



(3) 「自然浴の土」を搬入します。(同時に「自然浴のたいひ」を混ぜます。)

23-1 土壌面への搬入



<注 意>

- 地中桁および地中梁の下に、十分な土が入っていないとステージ手すり支柱が傾いてしまいますのでご注意ください。(A図参照)

<自然浴の土30リットル入の場合>

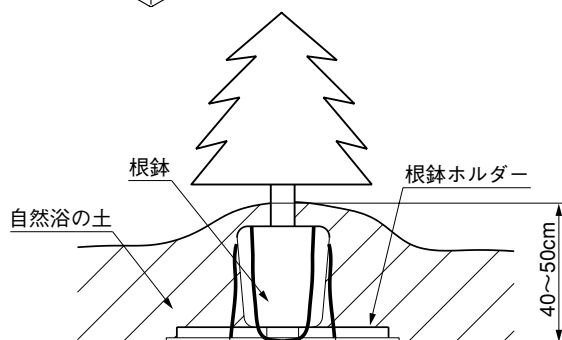
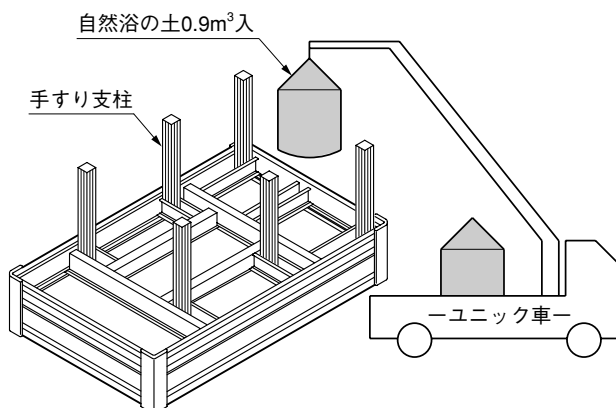
- ① 「自然浴の土(30リットル入)」必要数だけ搬入し、まんべんなく広げてください。
- ② 「自然浴のたいひ」を必要量だけ自然浴の土と混ぜてください。

<自然浴の土0.9m³入の場合>

- ① ステージ面に「自然浴の土(0.9m³入)」を誘導し、袋の底面を少しずつカットして土の流れる様子を確認しながら、カット面を広げてください。

<注 意>

- 「自然浴の土0.9m³」の搬入にはユニック車が必要になります。搬入の際には電線やその他既存構築物に十分注意してください。
- ② 「自然浴のたいひ」を必要量だけ自然浴の土と混ぜてください。
- ③ 土の厚さが均一になるように土壌表面をならし、根鉢ホルダーで固定した樹木の外周は十分に締め固めながら、根鉢が隠れるくらいまで土を盛り上げてください。

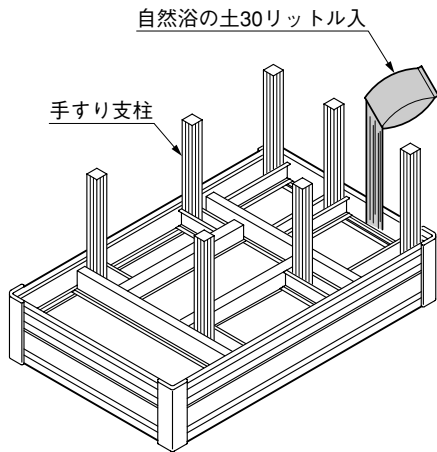


※根鉢が隠れるくらい土を盛り上げる。

「自然浴のたいひ」必要量

土の量	たいひの量(土の5%)
30リットル入×10袋	15リットル入×1袋
0.9m³入×1袋	15リットル入×3袋

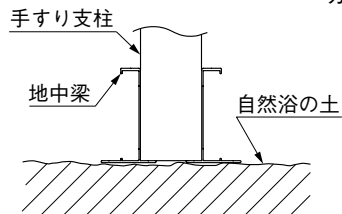
23-2 ウッドデッキ面への搬入



- ① 「自然浴の土 (30リットル入)」を必要量だけ搬入し、まんべんなく広げてください。

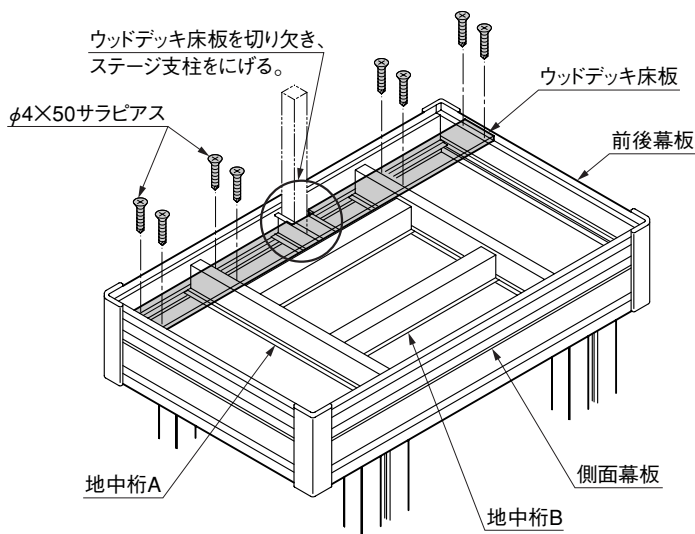
<注 意>

- 地中桁・地中梁の下部は「自然浴の土」を十分に充填してください。



※地中桁・地中梁の下部には土を十分充填してください。

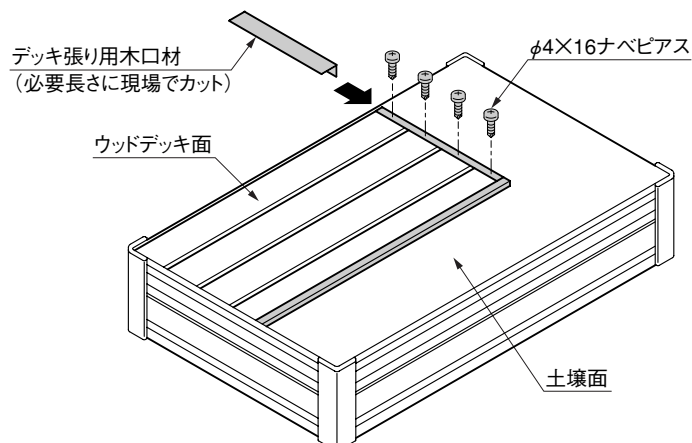
24. ウッドデッキの張り方



- ① ウッドデッキ床板を必要長さに切断し、幕板、地中桁、根太および地中梁にφ4×50サラピマスで固定してください。

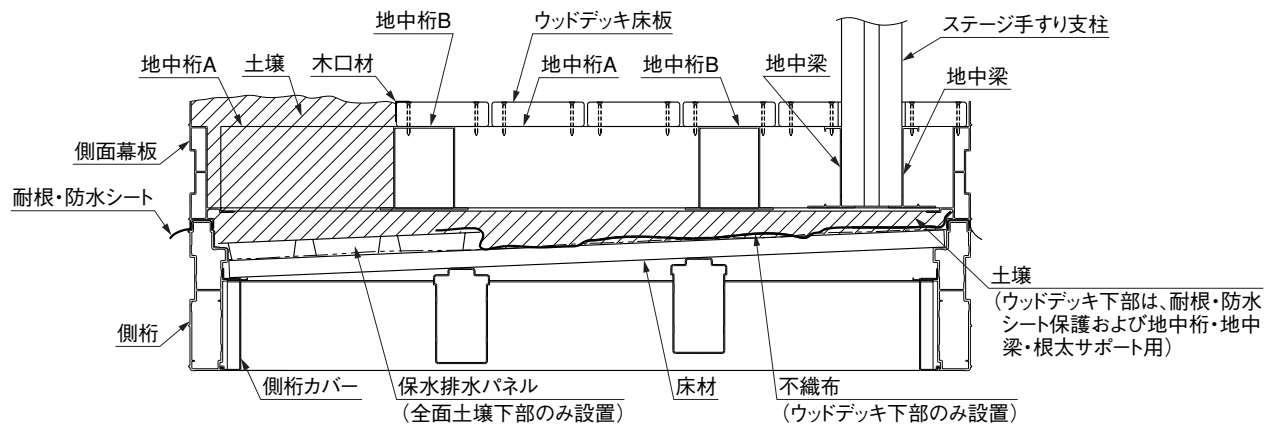
<注 意>

- ウッドデッキ床板は、5mm程度すき間をあけて組付けてください。

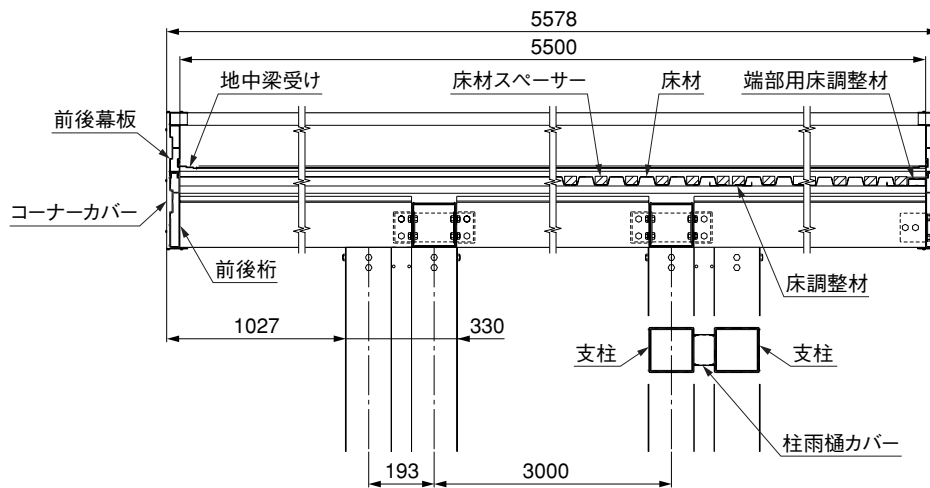


- ② 土壌面との境界にあるウッドデッキ端部をデッキ張り用木口材でカバーしてください。

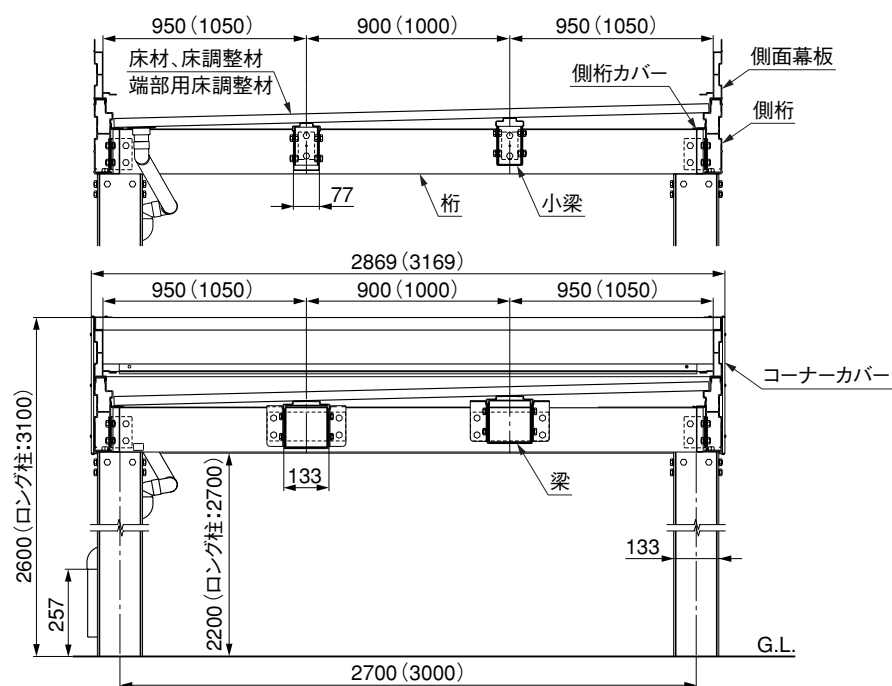
25. 納まり図



土壌面およびウッドデッキ面断面図



奥行き断面図

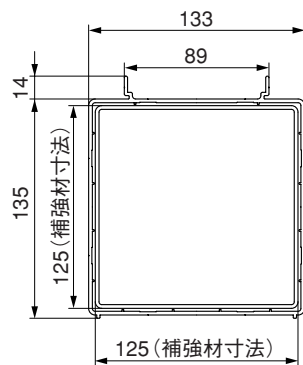


間口断面図

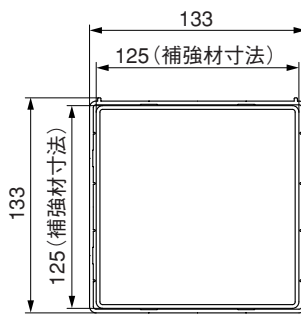
<注 意>

- 図は28サイズを、() 内寸法は31サイズを示します。

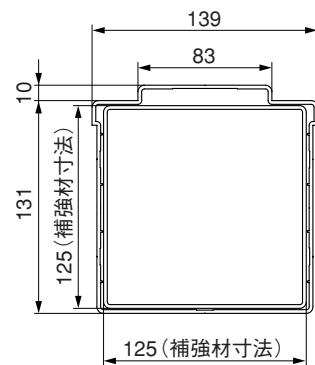
26. 部材断面図



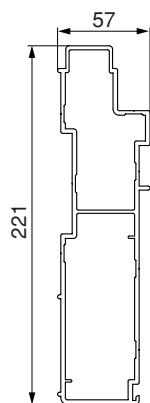
支柱



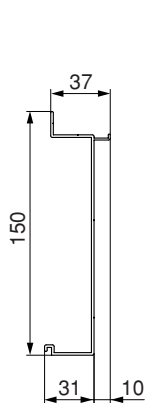
桁



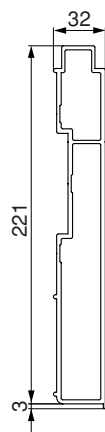
梁



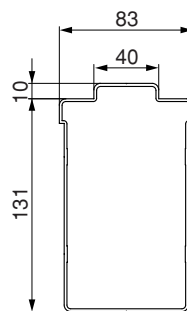
側桁



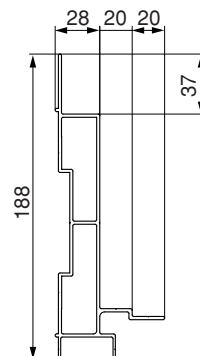
側桁カバー



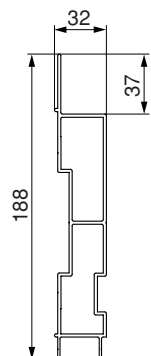
前後桁



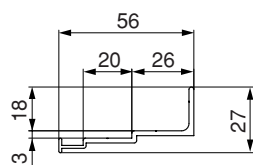
小梁



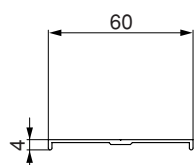
側面幕板



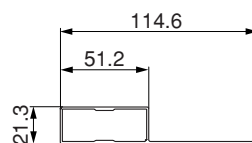
前後幕板



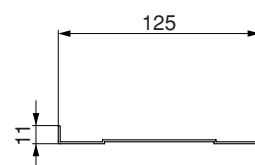
地中梁受け



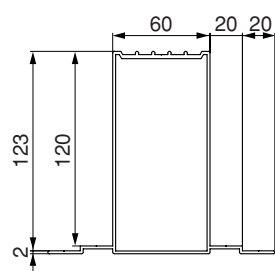
柱雨樋カバー



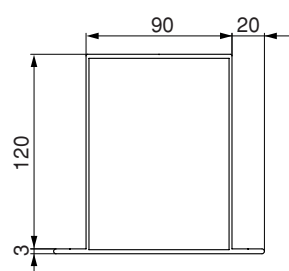
端部用床調整材



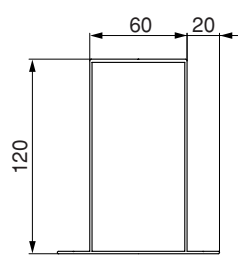
床調整材



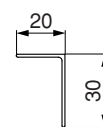
地中桁A



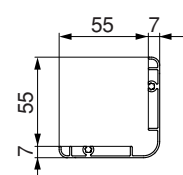
地中桁B



根太



木口材



コーナーカバー

